



フランス客船のポナン 最新ヨットスタイル客船の魅力

ラグジュアリー・エクスペディション(探検・冒険)クルーズのパイオニアとして
日本でも知名度が上がりつつあるフランス船社「ポナン」。
2018年に2隻がデビュー、2019～2020年は4隻が就航予定の
同社の最新ヨットスタイル客船を紹介しよう。



一般的なアトリウムはなく、中央に置かれたオブジェが独特の空間を創り出す

エントランスから それぞれの心地よい場所へ

レセプションまわりの個性的なオブジェで、独特の空間を創り出すのが得意なボナンの客船。

「ル・シャンプラン」では、レセプションに寄港地デスク、今後のクルーズが予約できる相談ブース、おしゃれなショップの中央に木材を多用したオブジェ兼ソファがほどよい存在になっている。寄港地ツアーを申し込む夫を妻がソファで待ったり、寄港地から帰った瞬間にふと腰掛けたり、デザイナーの待ち合わせ場所に使ったり……。

レセプションや寄港地デスクでは、おしゃれな制服を身に着けた英仏バイリンガルのクルーが常に

にこやかに対応してくれる。

外の空気を吸いたいなと思えば、「メイン・ラウンジ」を突っ切って、ドアを開けるとプールデッキにたどり着く。プールのまわりにはイスも多く、バーや外にグリルが出ている時は軽食やドリンクもすぐ調達できるので便利だ。

ちよつとゆつくり落ち着きたいときは3デッキ上がつて、「パノラミック・ラウンジ」へ。こちらにもバーがあるので好きなドリンクや壁に並んだ本を片手に180度の景色を眺めつつ、のんびりと過ごすことができる。この移動の楽さが小型船の魅力の一つである。



上: 白いカウンターにはおしゃれな制服のレセプションистたち 下: 「パノラミック・ラウンジ」には本やアート、クラフトも並ぶ

上：一面のみガラス貼りのプールが印象的。気候の
よいところではプール周りのフロアで食事も
下：外にも出られる船首の「パノラミック・ラウンジ」





上:ダイニングルームから続く外のテーブル
下:プレゼンテーションも美しい手の込んだ料理



落ち着いたダイニングルーム(屋内)でのディナー

フランス客船と言われるとやはり期待してしまうのは食。「ル・ボレアル」などの姉妹船シリーズのメイン・ダイニングは「ガストロミック・レストラン」という名がついている。

「ル・ラペルーズ」などのエクスプローラーズシリーズのダイニングルームは一つだが、天気の良い日は外でも食事ができるようにダイニングルームが外のデッキまで続く構造だ。暖かいエリアなら夕食もデッキでコースを食べられる。

朝と昼はサラダやフルーツ、スイーツはビュッフェから。メインはテーブルでオーダー。毎日変わる

フランス客船と言われるとやはり期待してしまうのは食。「ル・ボレアル」などの姉妹船シリーズのメイン・ダイニングは「ガストロミック・レストラン」という名がついている。

「ル・ラペルーズ」などのエクスプローラーズシリーズのダイニングルームは一つだが、天気の良い日は外でも食事ができるようにダイニングルームが外のデッキまで続く構造だ。暖かいエリアなら夕食もデッキでコースを食べられる。

朝と昼はサラダやフルーツ、スイーツはビュッフェから。メインはテーブルでオーダー。毎日変わる

フランス客船が誇る食 潮風の中でのディナーも可能



上:フランス料理ゆえ、デザート前には多くの乗客がチーズを食べる 下:ワインの品ぞろえは美に豊富。客室にはワインリストもある



アイボリーの椅子やテーブルで朝や昼は軽やかに。ガラス窓の奥もテーブル席



2



3



1

1 ダイニングルームの一角にあるビュッフェ・コーナー 2 バゲットはその場で切ってくれる。 ボルディエバターをたっぷり載せて
3 朝、昼のビュッフェにもチーズは欠かせない存在



夜は照明に照らされた海中を眺めながらゆったりと過ごす



洋上も海中も 徹底的に海とつながる ポナンの心意気

ポナンは1988年、フランス人の船乗り3人が始めたクルーズ会社だ。海を愛する船乗りたちが3本マストで60人乗りの「ル・ポナン」を第1船として就航させた。その後、海を慈しみながら冒険ができる姉妹船シリーズ4隻を建造、南極や北極などの極地や秘境へ乗客たちを誘ってきた。そのDNAはこのエクスプローラーズシリーズにもしっかりと受け継がれている。

ヨットスタイルという、海を身近に感じながらプライベート感覚でクルーズを体感するコンセプト

に加え、海中ともつながる、こ
とで海との親和性をさらに高めた。
それが「ブルー・アイ」だ。

デッキ0という海中のフロアに
造られたラウンジ「ブルー・アイ」
は船体の両サイドに大面積の透明
な窓を有し、海面下の光景を見る
ことができる。透明度の高い海な
らば泳ぐ魚やサンゴ礁を眺めたり、
イルカと窓越しに戯れるという体
験もかなうかもしれない。

またラウンジ正面の壁には水中
カメラが捉えた映像や幻想的な浮
遊するクラゲの様子が映し出され
る。宇宙を思わせる空間には、最
新の技術で拾った水中の音を織り
交ぜた「深海の自然交響曲」も流
されるという空間だ。

オープン時間が午前と夜など、
目によって違う。基本的には瞑想
のための場所とのこと。設計者は
フランスの海洋建築家ジャック・
ルージュリー氏。今まで数多くの
海中建築に携わってきたが、耐氷
船にこの施設を造るのは大きな挑
戦だったという。

夜は窓の周りに照明が付くので
通り過ぎる魚を眺められるムーデ
ィなラウンジとしても人気。船
内には大がかりなショーなどない
が、大自然の海中という壮大なシ
ーンを見られるという意味ではこ
れ以上のショーはないだろう。



透明な窓を有する水中ラウンジは客船初の試み。加えて極海を航行できるアイスクラス船でもある



ドレスコードは「スマート・カジュアル」だが1航海に2回ほどあるガラ・ナイトでは少しドレスアップ



シアターもあるが、夜は「メイン・ラウンジ」でピアノ演奏を聴きながらドリンクを楽しむ乗客が多い。天井が鏡なので空間が広がる





ウッドフロアを挟んでバーとソファやイスが置かれた「メイン・ラウンジ」



プールデッキでは朝や昼のビュッフェが食べられる。アフタヌーン・ティー用のクレープシュゼットも目の前で



クルーも乗客同士も親密になる フランス流ヨットスタイル

時間があるという足が向くのが、レセプションから続く「メイン・ラウンジ」だ。心地よい椅子がアトランダムに置かれ、バーではコーヒーやアルコール、ちよつとした軽食やスイーツも手に入るの。朝に夜に使い勝手がいい。座って読書していても隣に誰か座るとおしゃべりが始まることも多い。乗客定員184人の小型船らしく顔なじみになるのが早いのだ。

ポナンは唯一のフランスの客船会社で乗客はフランスを中心にヨーロッパ人が多い。フランス人といえちよつとスノッブでとつつきにくいイメージがなくもない。しかしポナンの船では、新タイプのフランス人乗客が多いことに気が付く。相手がフランス語を話せないと分かると、得意でも得意でなくとも英語に切り替え、積極的ないろんな乗客とコミュニケーションを図ろうとしてくれるのだ。フランス人クルーもみな英語が流暢だ。ル・シャンプランのホテル部門を仕切るクルーズ・ディレ



「メイン・ラウンジ」の奥にあるプールデッキ。テーブルやデッキチェアが並ぶ



ダイニングルームからもプールを見下ろせる。海と景色が近く、秋のノルウェーの紅葉に皆くぎ付けだった

クターのロイックさんはまだ若い
がいつも笑顔で4カ国語を話す。
「いろいろな国の方とお話をした
いというフランス人クルーがたく
さんいます。ポナンは船も増えて
インターナショナルになっていき
ますが、一方でインテリアや食事
雰囲気は実にフランス的。パリに
行くより、ポナンの船で一緒に旅
をするほうがフランスをもっと感
じていただけるかもしれません。
さらに素晴らしい寄港地にも行け
ますし」とにつこり。

ヨットスタイルで海に近い造り
もクルーと乗客を親密にするのに
一役買っている。「メイン・ラウ
ンジ」の先にはプールがあり、そ
の周りにはまた座って話し込んで
しまいたくなるテーブルやイスが
並ぶのだ。さらに階段を下りると、
そのまま海遊びができるマリーナ
があり、停泊場所によってはその
デッキでのんびり過ごすこともで
きる（透明なプールを横目に）。

地中海やエーゲ海のあまり知ら
れていない島や港、ポナンが「ト
ロピカル・エクスペディション」
と呼ぶクルーズではユニークなエ
リアの美しい海で、このマリーナ
から直接海に飛び込む……。

人と海、自然と戯れる、豊かで
上質な時間と体験こそがポナンの
クルーズなのだ。



シーズン終わりの静かなノルウェーのフィヨルドで紅葉を見ながらカヤックができる絶妙なクルーズ



Relax

スパはフランスの老舗サロン「ソティス(SOTHYS)」。本格的なフェイシャルやボディトリートメントの施術が受けられる。サウナ、ジム、美容室も完備、小ぶりだがどこもデザイン性にあふれた施設。



Active

プールデッキの下はマリーナに続くデッキ。マリーナは電動であつという間に出てきて、エンジン付きボートやパドルボードなどで漕ぎ出したり、そのまま泳いだり。寄港地ツアーも活動的なものが多い。



Cabin



2



1



3

- 1 木を多用しシックにまとめられた客室。シャワールームとトイレが分かれているのが好評
 2 92室全室がバルコニー付き。ネスプレッソマシンも。ルームサービスは24時間OK 3 触り心地のよいバスローブもある





ポナンの客船のラインナップ



エクスプローラーズシリーズ

- ル・ラペルーズ(2018年就航)
- ル・シャンブラン(2018年就航)
- ル・ブーゲンビル(2019年就航予定)
- ル・デュモンデュビル(2019年就航予定)
- ル・ジャック・カルティエ(2020年就航予定)
- ル・ペロ(2020年就航予定)

総トン数:9,900トン
全長:131メートル/全幅:8メートル
乗客定員:184人/乗組員:110人
船籍:フランス 耐氷船



●ル・ボナン(1991年就航)

総トン数:1,443トン
全長:88メートル/全幅:12メートル
乗客定員:64人/乗組員数:32人
船籍:フランス



●ル・コマンダン・シャルコー

総トン数:3万トン
全長:150メートル/全幅:28メートル
乗客定員:270人/乗組員:187人
船籍:フランス 砕氷船(PC2)

姉妹船シリーズ

- ル・ボレアル(2010年就航)
- ロストラル(2011年就航)
- ル・ソレアル(2012年就航)
- ル・リリアル(2015年就航)

総トン数:1万700トン
全長:142メートル/全幅:18メートル
乗客定員:244~264人/乗組員数:140人
船籍:フランス/耐氷船